

第911号

令和8年7月13日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

(教室だよりのバックナンバーも掲載中)

新たな学びの空間へ

佐渡市立南佐渡中学校

校長 金子 幸弘

今年度から南佐渡中学校にも通級指導教室を新設していただき感謝申し上げます。

今までの勤務先では、何人もの生徒が通級指導教室のサポートを受け、元気に学校生活を過ごす姿を見てきました。普段なかなか友達に話しかけにくい、なぜかいつの間にかトラブルになってしまう、授業の内容がよくわからない・・・様々なことが原因で周囲との関わりが苦手になる子どもや、学習が苦手になる子どもがいます。そんなとき、話を聞いたり、コミュニケーションスキルの練習をしたり、時には気になる勉強について教えてもらったりと様々なサポートで生徒たちの困り感に対応してもらいました。悩み事が和らいだり、かかわり方を身につけたりできると、生徒たちの表情はよくなり、自信につながります。

このような効果がある通級指導教室が設置されたことで、少しでも生徒たちのコミュニケーション能力や学習意欲が高まり、生徒の笑顔が増えていくことを願い、学校全体としても協力して取り組んでいきたいと思っています。



「○○できないよ」ではなく「○○できるよ」

3歳の孫が佐渡から家に帰る日、「もう、じいじ、ばあばと遊べないの?」と泣き顔になってしまいました。せっかくの最後の日をこんなことで台無しにしたくなかったので、「大丈夫、9時までは遊べるよ」と切り返しました。すると、安心して時間いっぱい楽しく過ごし、笑顔で帰っていきました。

特別支援学校で勤務していたころのプール授業のことです。ある子どもに、うっかり「きまりを守らないとプールに入れません」と言ってしまったところ、その子どもが怒りだしてしまったことがあります。大好きなプール授業なのになぜ怒る?と疑問でした。「プールに入れません」を聞いてしまったからと気づき、あわてて「大丈夫、きまりを守ればプールに入れるよ」と言い直したら、途端に笑顔になり楽しくプール遊びができました。同じことを意味しているのですが、言い回しの違いでこんなにも反応が違うものなのかと、改めて言葉掛けの重要性に気付かされました。

ものは言いようで、同じことでも肯定的に言うことでやる気になったりうまく伝わったりします。「早くしないと遊ぶ時間がなくなるよ」を、「早くやれば、たくさん遊べるよ」と言い方を変えることで、もしかしたら宿題もはかどるかもしれませんね。自分の発する言葉に敏感にならなくてはと、気を引き締めています。

(香遠 直子)

言葉の力

今から20年近く前、初めて特別支援学校に勤務した時に会った、忘れられない場面があります。A先生がある男の子に「はい、靴履いて!」と声を掛けていましたが、その男の子は全く動かず、何度言われても靴を履こうとしません。その後、B先生が近づき、何気ない調子で「靴を履いていいよ」と声をかけました。すると男の子はすんなりと靴を履いたのです。B先生はその後も「〇〇しますか?」と穏やかに声を掛け、男の子は無事に次の活動に参加することができました。タイミングが良かったとか、その先生との関係が良かったとか、別な要因もあったのかもしれませんが、ちょっとした言葉の違いで、相手

が受け取る感じ方が違うことを学んだ瞬間でした。どうしても、焦ったり苛立ったりするとうっかり言葉が乱雑になります。そんなときには今でも、B先生を思い出するようにしています。

(臼木 陽子)



第1回運営会議が開かれました

6月8日(月)に第1回運営会議が開かれ、昨年度の報告と今年度の教室運営について審議が行われました。ご意見を今後の教室運営に活かしていきます。

夏季言語検査・情報交換会を行います

7月後半から、保育園・こども園の年長児を対象とした夏季言語検査と、通級児童生徒の在籍校担任との情報交換会を行います。よろしくお願いいたします。

「自分で決めるために」

親の会会長 飯田 里美

会員の皆様には、親の会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

子どもたちが自分らしく生きるためには、自己決定できることが大事だと感じます。そのために情報収集と整理が不可欠ですが、子どもの意向に沿って考えていくことはとても難しい作業となります。親の誘導尋問になっていないか、子どものためといつつ親の希望となっていないか。だからこそ、子どもと関わる方々の力を借りて客観的に情報の整理や選択肢について考えていけるといいのではないのでしょうか。離島であっても、子どもの選択肢が広がるよう皆様と共に考え、活動していければと思います。



7/4(土)第1回学習会報告

第1回学習会「進路・将来のために今できること～知っておきたい支援の実際～」を金井小学校で開催しました。

第1部の講演会では、4名の講師の皆様それぞれのお立場から家庭生活や将来の進路について話していただきました。

第2部では、2グループに分かれ、講師の先生を交えて懇話会を行いました。講演をお聞きしての疑問や、今後の子どもの成長や進路で気になること、不安に感じていることなど、講師の先生方や同じ悩みをもつ保護者の方々と話し合うことができました。

【参加者の感想より】

- ・卒業をゴールとしない。佐渡に生まれた不安を感じていたが、子どもに寄り添って、改めて、考えていきたいと思いました。
- ・好きなことを、とことん突きつめてあげること、佐渡には沢山の支援や相談ができ、社会や地域に繋がっていただける事がわかり安心しました。
- ・思春期ですが、本人の不安があれば、安心ができる関わり方をしたり、進路については本人の強みを大切にしたりする中で、光が見えるのだと思いました。本人の可能性が広げられるようにしていきたいと思いました。